

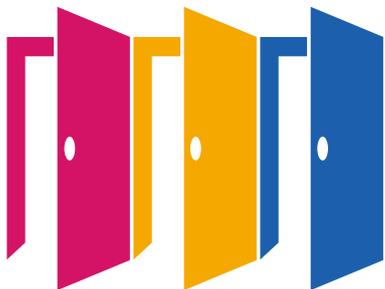
Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦



第1664回例会

令和3年4月15日 (12:30～13:30)

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 小針永子様

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長 (35周年記念式典コンペが皆様のご協力のもと盛會に終わる事が出来ました。改めまして御礼申し上げます。小針永子様本日は卓話をいただきまして有難うございます。居川実行委員長腰の具合は大丈夫ですか。)
- 堀田一彦幹事 (小針永子様ようこそ！卓話ありがとうございました。)
- 居川孝男会員 (35周年記念式典無事終了する事が出来ました。会員の皆様に厚く御礼申し上げます。小針永子様卓話ありがとうございます。)
- 金田昇会員 (小針様、卓話ありがとうございました。先日の地区大会も実り多く終了することができました。ご支援ありがとうございました。)
- 湊洋子会員 (私用と、地震の立会によりしばらく欠席いたしました。久しぶりに出席してみなさんにお会いできてうれしいです。小針様卓話ありがとうございました。)
- 鳴島三夫会員 (西クラブ創立35周年記念式典では、歴代会長33代感謝状をいただき、ありがとうございます。)
- 村上堅二会員 (小針様、お話しありがとうございました。4月より、息子が入社いたしました。今後とも宜しくお願いいたします。)
- 石部辰雄会員 (裁判所の立会で遅刻してしまいました。無欠席を願って飛んで参りました。)
- 成井正之会員 (小針永子様、卓話ありがとうございました。4月27日で結婚40年になります。ルビー婚だそうです。妻に何かプレゼントをすれば喜ばれるのでしょうか？記念日のお祝いとしてスマイルします。)
- 関谷亮一会員 (創立35周年成功御苦労様でした。2月13日の地震により被害を受けられました会員へのお見舞大変ありがとうございました。)

▶第1664回例会出席状況 (R3年4月15日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	49名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	63名
Ⓒ ①の出席者数	31名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	6名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	38名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	55
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	69.0%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆様、こんにちは。今日も、先週の周年の終わりということでお疲れの残年中、皆さんご出席いただきまして誠にありがとうございます。今日はまず最初にお客様をご紹介させていただきます。小針永子様。小針永子様は本日講師ということで、卓話を後程いただくことになっておりますので、そこで自己紹介も含めしっかりといろいろお話をお聞きさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。まずもって、先日の35周年式典、それと翌日に続きましたゴルフコンペと、会員の皆様方には大変ご苦勞おかけいたしました、ご助力いただいたおかげで無事盛会で終わることができましたことは、何にも代えがたいくらいの喜びでございます。本当にこういう時期に構築するには困難な状況ではございましたが、無事開催できましたことは本当にひとえに皆様のお力のおかげだと思っております。ゴルフコンペのほうは、皆様ご参加されなかった方もいらっしゃるかと思うんですけども、結果から言いますと会長が優勝でございます、しかも準優勝が同級生の齋藤孝弘君ということで、どうもお前ら本当に仕組んでないのかと疑惑の目で見られたんですが、あくまでフェアにやらせていただきましてその結果ということでございますのでご了承いただければと思います。これも一つの記念かなというふうに思います。本当に二日間に渡り、非常に晴天に恵まれた中で開催できましたことは、今後も非常に思い出に残りますし、その際にお話させていただきましたように35周年これは通過点でございますので、ここから40年45年50年というふうに歴史を積み重ねていく責務が私たちには生じると思います。その責務に応えるためにも、しっかりと足取りを歩んでいきたいなというふうに決意を新たにいたしました次第でございます。今日を含めまして今年度も残り10回となりました。わたくしの年度の一番のノルマと申しますか、それはやはり周年式典等をきっちりやるということでございました。本来ですと、この式典を持ちまして周年事業に関わる事業というものが終わっているはずだったんですが、残念ながら1月に予定していました中村文昭先生の講演会、こちらのほうが延期になった都合ですね、6月20日の日に再度行うというふうになりましたので、まだまだそこまではちょっと気を張っていかねばいけないとは思っておりますが、それも含めましても例会はあと残り10回ということになっております。大体47回の例会が年度予定されているわけですが、そのうちの37回が終了して残り10回でございます。皆様の前でこうやってお話をさせていただいたり、皆様といろんなことをやらせていただくのも、会長としては残り10回ということを考えますとこの10回を貴重な例会にしていきたいと思っておりますし、会長である間に皆様方といろいろなご意見を戦わせたり、いろいろ勉強させていただくという貴重な時間をまた改めてしっかりと行っていきたいなというふうに思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。小針さん、今日は「子供たちの明日

へ」ということで、楽しみにしておりますのでよろしくお願いたします。以上で会長の時間とさせていただきます。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- ガバナー事務所：地区大会研修セミナー出席カード
- ガバナー事務所：会津分区分IM YouTube配信
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度 ガバナー 石黒秀司、RLI委員会 委員長 鈴木和夫：再ロータリーリーダーシップ研修会 (RLI) 第3期パート I 開催のご案内
- 福島民友：福島民友広告掲載紙
- 公財) ロータリー米山記念奨学会 事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま253号

■委員会報告

○関谷亮一会員



皆さん、こんにちは。先週の35周年の式典、会長はじめ実行委員長のお二人の大変な頑張り、そして実行委員の皆さん方、大変ご苦勞様でした。無事終了したことをありがたく思っております。ご苦勞様ございました。先週に続いてですが、皆さんにお願いでございます。先週も申し上げましたが、2月13日の土曜日に当白河地方でも震度5の地震がございました。その中で、我々のこの西クラブの会員のお三人の方が被害を受けられました。まず、中日会員の所の南湖神社でございますが、灯籠が8基転倒、それから鳥居が2基亀裂、常夜灯が15基、そのほか諸々の損害が生じたようでございます。続いて、金田会員の所でございますが、事業所各所においてシャッターが破損、壁、天井の崩落など、多数被害が点検をされました。そういうことでございます。それから、佐川会員の所では玄関のガラス窓が割れた。部屋の額落ちたり、ガラスの器が壊れたということでございまして、大小いろいろあるとは思いますが、実は先週もお話いたしました我がクラブの皆様方からお見舞いの志をいただければ大変ありがたいなということで、先週もお話をさせていただきました。ちなみに、先週募金箱をお回ししたところ6万2千円の皆様の暖かいお見舞いの浄財を提供していただきました。本当にありがとうございました。先週、ご欠席されて本日出席されたという方におかれましても、この旨をご理解いただいて募金をしていただければ大変ありがたいということで、本日はここに立たせていただきました。何卒よろしくお願いいたします。後程、募金箱をお回しいたしますので、よろしくお願いいたします。

○会計

横田俊郎会員



皆さん、こんにちは。会計のほうから、会費の引き落としのご案内をさせていただきます。4月26日月曜日に、皆様の口座のほうから会費を引かせていただきます。ご案内のほう若干遅くなりまして大変申し訳ございませんでした。後程、事務局のほうからもファックスのほうが送られると思っておりますので、そちらのほうでご確認をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○35周年実行委員会



35周年実行委員長より御礼のご挨拶をさせていただきます。先程、会長のほうからもお話ございましたとおり、35周年皆様方の絶大なご協力のもと、式典及び翌日のゴルフ大会と記念コンペということで、無事滞りなく終わることができました。吉野会長、堀田幹事はじめ皆さん方に御礼申し上げて、実行委員長よりも御礼の言葉とさせていただきます、本当にどうも皆さんありがとうございました。

居川孝男実行委員長

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○社会奉仕委員会



皆さん、こんにちは。本日は社会奉仕委員会の担当例会ということで、ゲスト卓話を小針永子様をお願いしております。小針永子様のご紹介等を含めまして、わたくし休眠状態に入っておりますことを、ここでこの場所をお借りしましてお詫び申し上げます。大変申し訳ございません。おおかたの予想どおりですね、忙しくはあるもののさほど実のない生活を送っております。ただ、ちょっと時間等々余裕ができた際には、また参戦させていただきたいと思っておりますので一つよろしく願いいたします。それでは、例会担当のほうに入らせていただきます。まず初めに、本日のゲストであります小針永子様のご紹介をさせていただきます。まず最初、お手元にお配りさせていただいております上杉謙太郎先生との対談記事のほうを見ていただけますでしょうか。この冊子、地域限定で配布されてますミニコミ誌なんですけども、ちょうど今年の新年号に上杉謙太郎先生との対談を小針さんのほうで組んでいただきました。大体の内容はそこにざっくり書いてあるんですけど、それ以外でもいろいろと小針さん活動されてますので、その辺のところを今日はいろいろな形でご紹介させていただきます。小針永子様は西郷村米に在住されております。女の子3人の子育て真っ最中であり、米小学校父母と教師の会の役員、西郷第一中学校においても本部役員をして活躍されております。また、私が会長を務めさせていただいております県南の子育てする親の会西郷支部の主要メンバーでございます。中学校時代は名門西郷第一中学校のソフトテニス部に所属され、全国中学生体育大会、いわゆる全中で全国制覇を成し遂げられました。現在はスキーマインストラクター指導員をこなされるアスリートでございます。白河女子高校を卒業後、東北学院大学をご卒業になられて、先生でありますとかOLのご経験をされております。現在は、西郷に戻られております。農業についての話は小針様の卓話にて詳しくお話させていただきますが、農業と子育てでありますとか、農業と地域づくりといった農業を軸とした社会活動に積極的に取り組まれております。その数々の実績から現在では、西郷村の農業委員会の推進委員としてもご活躍いただいております。更には、白河西ロータリークラブに寄せた話といたしましては、大竹憂子議員後援会の一員でもあります。それでは小針さん、よろしく願いいたします。

○「子供たちの明日へ

ステキな農園から発信する未来のカタチ」

ステキな農園 代表 小針永子様



改めまして、皆さんこんにちは。本日、お話をさせていただきます「ステキな農園」代表の小針永子です。大先輩の前で私が話させていただくということで、すごく緊張しています。今日は、題とさせていただいた「子供たちの明日へ ステキな農園から発信する未来のカタチ」ということで、約20分お時間を頂戴しています。ご紹介いただいたように、もともと会社員だった私がどうして農業をすることになったのかということから、自己紹介を兼ねて聞いていただきたいと思います。名刺交換をさせていただいた方にはお配りしたんですが、お米の形の名刺を使っています。農業を始めた時にいろいろな所にPRに行ったんですが、お米を作っているんですよと言うと、「あー、お米ねえ。」という感じで、みんな作っているんで印象に残りづらいというのが私が一番最初に感じたことでした。それで何とか相手の方に私を覚えてもらおうということで、出来上がったのがこのお米の形の名刺です。住まいが、米と書いてヨネと読む場所なんです。私が作っているお米作りとすごくリンクして、私の環境にとっても感謝しています。ご紹介あったように現在、三姉妹の子育て中で、一番上の子が中学校2年生、二番目が小学校5年生、一番下が春から小学校1年生になりました。年齢は永遠の18歳です。笑うところです。それで三姉妹の子育て中なんですけど、独身です。誰か良い人がいたら是非繋いでください。もともと会社員だった私がどうして農業をすることになったかということ、私の父が西郷村で飲食店を経営していました。そこで父が店で使う米を自分で作ってみたいと言い出したのがきっかけで、我が家のお米作りが始まって今年で26年目になります。父のわがままで始まったお米作りだったので、当初私は巻き込まれた感があって、ちょっと迷惑くらいに思っていました。でも、始まった当初は本当に種まきとか田植えとか稲刈り。農業でいったら、ぱっと目立つイベントごだけをピンポイントで手伝うという立ち位置で農業には関わっていません。そんな私が変わったきっかけの一つが、父が作業中に事故に遭ってドクターヘリで運ばれるような大きな事故だったんです。救急隊員の方にドクターヘリで運ばれて帰ってきた人はいないから覚悟しておいてくださいみたいなお話をいただいて、もうバタバタしながら母とはお葬式の相談をしながらだったんですが、その事故が2月だったのでもう種もみも注文していたし、肥料とかいろいろな資材も注文してしまった後だったんですね。それでどうしようかという話になった時に、私の考え方の癖なんですけど、あまり深く考えずに取りあえずやってみようというところがあるので、深く考えずにじゃあ一年だけ私がやってみようという話を母にしました。周りで親戚もお米作りをやっていたし、ご近所も農家さんが沢山あったので、深く考えずに何とかなるでしょうと思って始めたのが私の農業でした。ちょうど私その時に三女出産後で育児休業を取っていて家にいたし、父がずっとやっていたので道具も揃っているという恵まれた環境にあったというのがあります。そんな感じで

スタートしたんですが、帰ってこれないよと言われていた父が奇跡的に回復をしまして帰ってきました。ただ、高所作業で転落をしたので全身骨折だったんですね。もう60代の中くらいでその事故に遭ったので、回復はしたんですがやっぱり何かやる時にも「痛てて、痛てて。」という感じで力仕事はちょっと難しい状態にあります。それで私が教わりながら父と一緒に作業をするようになりました。また、変わったきっかけの一つとして私の農業に対する考え方が農業と接するうちに変わっていきました。最初は、お父さんのわがままに巻き込まれたわあ、嫌だわあと思いながらやっていた仕事だったんですけども、自分が主体となってやってみたら農業がすごく楽しかったんです。そして、子供たちもまだ小さかったので子供ってお母さん命じゃないですか。私がやることに子供達も興味を持ち始めてくれて、お母さんがやることを何でも真似をして一緒にやるようになったんですね。それで、最初は嫌々やっていた農業だったんですが、家族みんなで楽しく仕事ができるという環境ができてきました。会社員時代は、家、保育園、会社、家、保育園、会社とそこしか行けないような時間ばかり気にして遅れないように早く早くという生活だったんですが、皆で農業をやって広いほ場で作業したり、季節の風を感じたり、作物が育っていく様子を見たり触れたりしてるうちに、私の心にもゆとりが出てきて余裕が出てきました。私が変わったことによって、家族全体が変わってきたというのが私の印象です。ここで私がやっている農業と家族の心と体の健康が繋がっていきます。私が心にゆとりがあって笑っていられることで、家族の状態もすごく良くなってきたというところで農業と家族の健康というのが繋がりました。やっていくうちに、SNSを通して私が普段作業している、あー綺麗だなと思う風景とか、こんな事やってますという何気ない農作業の風景をフェイスブックだったりインスタグラムで投稿してみたところ、思ってもみなかった反応がありました。農家にとっては当たり前のことが、皆さんにとっては新鮮なことだったんだというのがSNSを通してすごく感じられました。そこで私に一つ気付きがあって、こうやって農業のことを発信していったら興味を持ってくれる人が沢山いるんだなというふうに気付きました。そして、どうせやるんだったらこの仕事のステキな部分を沢山のの人に伝えていきたいと思うようになりました。それで農園名を「ステキな農園」と決めて、子供のなりたい職業第一位を農業にしようということを目指すようにしました。これ、えーって言われるんですけども、これある方から言われたんですが、目標を立てるんだったらちょっと背伸びしたら届くような目標じゃ駄目だ。冷や汗かいて頑張って頑張って達成できるような目標を立てなかったら叶わないよと教えてもらったので、じゃやるんだったらなりたい職業第一位を目指してみようということで、子供たちと一緒に普段の作業とか、綺麗な風景とか一緒に発信しながら仕事をしていくようになりました。農業を続けていくうちにまた気付きがあるんですが、食と健康の繋がりに気付くようになります。私たちの体は食べたものから作られていて、その食べたもの以外からは作られていないんですね。だから、私はこの仕事をすごく大事な仕事だなと思うようになったし、大切な家族の健康を預

かる主婦としても、この食に関する仕事のことを沢山のの人に伝えたいし、知ってもらいたいと思うようになりました。子供たちと一緒にやっているというのは、うちは全員女の子なので多分将来的に全員お母さんになってそれぞれの家族の健康を預かる立場になるだろうなって思うので、子供たちと一緒に楽しみながら仕事を続けていってます。私は一つ気を付けているのは、グットイナフで頑張りすぎない。良い加減であり続けようというのを心掛けています。それは何でかという、やはり会社員時代に、会社、保育園、家、会社、保育園、家で、もう急いで早く遅れないようにとキリキリしてた私のせいで多分独身になっちゃったと思うんです。なので、そうならないようにいつもゆとりを持って良い加減で子供たちにもあり続けてほしいなと思っています。名刺の裏に書いているんですが、沢山の仕事を書いてあります。これ私さっきも話したんですが、あんまり考えずにぱっと面白そうと思ったらぱっとやってみちゃうたちなんですね。いろいろな資格を取って、どれもお仕事に繋がっていることなんですけれども、例えばウェルネス・アドボケイト、これ一番上に書いてあるんですけど、これって健康の提唱者という意味なんですね。それから、アロマ環境協会のアドバイザーとセラピストの資格を持っています。それから、先程ご紹介もいただいたんですがスポーツインストラクターとしても活動しています。健康のピラミッド、ウェルネスピラミッドという考え方があるんですが、その土台になる部分がやっぱり適切な食生活になります。その土台をきちんと培っていかないと、いくら高いサプリメントを飲んだり、いいお医者さんにかかったりしてもその一番土台となる食事の部分がきちんとできてないと意味もないですよという考え方なんですね。私がぱっと思いついてやっていたことが、そのウェルネスピラミッドという概念を知った時に、点だったものが線に繋がったというのがありました。いろいろ考えてやっていたけれども、農業だったりお菓子作りの教室だったり、農地に関わる推進委員なんかをやらせてもらっているんですが、そういう事が家族や子供たちの健康づくり、その土台を作るし、土台をしっかり作った上でスポーツインストラクターが担当する運動だったりとか、アロマを使った休憩やリラックス、そういったものが全部繋がってきたというのが今の私の感想です。子供たちがいなかったらこういう考えには至らなかったろうし、父が事故に遭わなかったら私は今も会社員だったと思います。よくすべてが必然で大変な事も起こっているんだよと言われるんですが、本当にそうだなということを実感しています。そして、この農業という仕事を通して子供たちが今のなりたい職業ユーチューバーとか正社員とかなんだそうです。その仕事が悪いというんじゃないんですけども、やっぱり健康でないとどんな仕事もできないかと思うので、特にうちの子供たちは全員女の子なので将来家族の健康を担っていく、そういう子供たちを増やしていきたいし、笑って過ごせるお母さんたちを増やしていきたいなと思っています。なんかほほほ私の自己紹介になってしまったんですが以上です。どうもありがとうございます。

ちょっとお時間が余っているので、私スポーツインストラクターの仕事をしていて、今白河市の体育協会さんと一

緒にエクササイズをやっているんです。皆さん食後なんですけど、ちょっとだけ一緒に体を動かしてみませんか。いいですか。ありがとうございます。じゃあ、その場で立っていただいていいですか。お腹いっぱいかと思うんですが、足を肩幅から腰幅くらいに開いていただいて、膝を柔らかく揺らしてみてください。ぐらぐらという感じで。今の自分の体の状態を確認するために、前屈をしていただいて床に手が届く方はタッチしていただいて、届かなければそれで大丈夫です。これくらいだなというのを確認してください。

ちょっと体をほぐしていききたいと思います。この姿勢のままお尻をきゅっと縮めます。そして、おへそを持ち上げます。脇の下をさげる。首を長くしますね。つむじの髪の毛1本を天井から吊るされているような気持ちで背筋を伸ばしていきます。この状態で手のひらが上、腰の高さです。肘を支点にして扇を開くようにこの手を背中側に開いていきます。吸いながら開きます。できれば背中より後ろに、できるところまで大丈夫です。細く吐きながら戻していきます。戻ったら腕を揺らしてください。これ3回やっていきますね。もう一度行きます。掌が上です。吸いながら開きます。細く吐きながら戻します。ラスト1回です。掌が上、腰の高さです。肘を支点に吸いながら開きます。吐きながら戻します。はい、ありがとうございます。そのままの姿勢で、今度はおへそを太ももに近づけるようなつもりで腰を曲げてください。膝まげて大丈夫です。床に手をつきます。そして、ちょっと戻って左手を上げてください。頭を下げたままで膝をぎーっを後ろに押ししていきます。そして、脱力して背中からロールアップです。もう一度行きます。おへそを太ももに近づけるようにして、腰を曲げます。膝曲がって大丈夫なので、床に手をつきます。そしたら少しづつ足に近づけて、今度は足首を持ってください。そしたら、腕の間に頭を入れます。膝を壁側にぐーっと押し付けるつもりで伸ばしていきます。ぐーっと膝を後ろに押ししていきます。お尻は天井に近づけるような気持ちで持ち上げてください。そうです、そのままキープします。3、2、1、脱力して背中からゆっくりロールアップします。ありがとうございます。そうしたら、最初にやったように今の自分の体の固さ、確認してみてください。絶対、柔らかくなってるんですよ。ちょっとしたことなんですけど、皆さん社長さんとか偉い方で工作中電卓を叩いたり画面を見つめたりということが多いと思うんですよ。お座りいただいて大丈夫です。そうすると、どうしても肩が前に巻き肩になって



いきます。横から見ると、そういう人ってこういうふうに見えるんですよ。今やったこの運動をした後って、みんな肩が本来あるべき位置に戻っていて、横から見ていただくと姿勢が全然違うんですよ。多分見た目5歳くらい違ってくるんです。なので、皆さんお忙しいとは思いますが、気付いた時に座ったままでもこの運動簡単にできて、胸が開くと酸素が沢山入るので、是非やってみてください。お付き合いいただいて、ありがとうございました。

○松永紀男委員
農業という業種に関わらず、各方面でいろんな活動をやってらっしゃる永子さんなので、いろんな引き出しがあって、今日も想定していなかったようなこういう体操をやらせていただいて、そのいつも感心して尊敬の念を持って拝見させていただいております。一般相談しましたように、手前共の会社の営農事業部というのがありまして、昨年から営農活動にも入らせていただいております。その中で、永子さんのほうには講師にもなっていて、今後共に土にまみれ子供たちにまみれ、社会活動に進んでいくことができたらいいなと思っておりますので、今後共ご指導の程よろしく願いいたします。今日、来ていただいたお土産のほうを準備しておりますので、会長のほうからお渡しさせていただいてよろしいでしょうか。

○松永紀男委員

○お礼の言葉
吉野敬之会長
ほぼ卓話と同じ時間を頂戴しました。ありがとうございます。本当に今日は楽しい卓話をありがとうございました。お話をお伺いして、男性と女性というのはよく男性女性は違うとか、いや平等だとかいうお話ありますけど、やはり区別はされるべきだなと思うのですが、当然体の組成から違うわけですから、DNAも違うわけですから、それは差別ではなく区別をするべきだなというふうに思うんですが、私の職業は宝石屋さんをやっているもので、スタッフさんが女性の方が多くんですけど、その女性たちを見ていて非常に感じることもあるんですが、十把一絡げにお話しするわけではないんですが、女性というのは非常に勇気があるなって。女性は男性と違って非常に柔軟性があるなというふうなことをいつも感じています。先程のお話の中でも、もともとはOLをやられてて、それで農業をやられて、それで更に今のようなスポーツインストラクターですとか、お菓子をお作りになったり、ハワイアンヨガですか、ハワイアン何とかとかいうのをやっていらっしゃったりとか、なかなか男性ってそこまで多様に動けるのかなと考えたら、意外と動けないというふうな区別がつくかなというふうに思っています。女性も全員がそうでもないと思うんですけども、先程のお話とか名刺の裏を見せていただくと本当にそういう力が強い方だなと思いました。ちょっとこれ話変わるんですけど、昔それこそ米小学校の校長先生の所に用事があってお伺いしたことがあって、学校の先生方が女性ばかりなんですよ。その校長先生に何でこんなに女性ばかりなんですかというお話を聞いたら、その校長先生が「しょうがない、女のほうが頭良いんだもの。試験に受かるのみんな女の子なんだもの。男入れてくれって言ったって駄目なんだ。」って仰った校長先生がいらっしゃったんです



けど、本当にそういうふうな女性の力はパワフルだなというふうにしてその当時から感じておりました。「成功の囚人」という言葉があるんですけども、これはご存じの方も多いと思うんですけども、意味合いとしては人間はやっぱり成功を収めて何かの形で成功を収めるとやっぱり成功にとらわれてしまって、なかなかそこから抜け出せない。何かをやろうと思っても、もうこれで私成功したんだからというやり方を踏襲してしまうんですね。だから、やはり殻を破って他のことをやっていったりということが怖くてなかなかできない。もしくは、成功体験があるのでそれにすがってしまって、その同じやり方を踏襲してしまうというふうなことは、これが一概に悪いと言えるかどうかはわからないんですけども、そういう事じゃなくてもっと新たな一歩をどんどん踏み出していきましょうという事で「成功の囚人」という言葉があります。なんとなく私は性格的に、成功してないんですけども、そういうふうな踏み出す力は弱いなというふうに感じているので、尚更今日のように、どんどん自分の枠を広げているんな事に挑戦していったというふうな方を見ると、非常に羨ましいな素晴らしいなというふうに思っております。また話は変わるんですけども、実はなんか先程彼氏と申しますか、将来の伴侶を募集中ということでしたので、うちのクラブの堀田幹事がちょうどなんですけど、たまたま今、独身でありまして酒癖は悪いかもしいんです。非常に緻密で細かいかもしれないです。でも、多分非常にいい男だと思いますので、もしご縁がありましたら今後ご検討いただければというふうに思っておりますので。酒癖は、まあごめんください。最近治ってまいりましたけど。彼の一番のセールスポイントは、アピールポイントは根拠のない自信と言われております。何事に対しても自信を持って突き進むと。しかし、その裏にそれを実証する根拠が何もない。けど、根拠のない自信で突き進んでそれを成し遂げるといふような性格でございますので、もしかしたらマッチングがいいのかなと思いますので、ご検討いただければというふうに思います。今後、更なるご発展のほうをお祈り申し上げます。それと今日、設営していただきました松永君に対しましては、先週の式典の際にもご出席いただきまして、ご出席してませんでした。多分、ズームでご出席していただいたのかなと思います。皆様、それぞれお忙しい中ロータリー活動に参加していただくということでございますので、もちろん出席率がいい事に越したことはないのですが、私の基本的な考え方としてはやはり入会をして活動を続けるということが第一義であって、やはり仕事とかそういったものを犠牲にしてまでするものではないので、ただ週に1回、年に47回の例会がございますので、優先順位を3番4番目くらいにしても何とか三分の一、四分の一はご出席をいただけるようになるかと非常にありがたいなと。更には、今はズームでの参加ということもハイブリット型ということでやらせていただいているので、是非お忙しいでしょうが参加率を上げていただいて、このような素晴らしい人材がまだまだ白河にはいっぱいいらっしゃると思うので、皆さんのチャンネル、特に松永さんのチャンネルでご紹介いただいて卓話をいただくと、私たちがまた成長できるのかなと思いますので、よろしく願いいたします。最後にまた35周年

の話で恐縮ですが、本当にご助力いただいた皆様に心から御礼を申し上げます。それと、石黒ガバナーのほうから帰りにお話をいただきました。非常に良い式典でしたと。気持ちもこもっているし、きちんとした式典だという表現をしていただきました。これもひとえに本当に皆様方が作り上げたものに対する評価だなと思います。5月になりますと、福島と郡山といわきだったかな、3つ程式典があるそうでございます。その式典も西さんと比べてしっかり見えますなどというようにお話をいただいて、本当に良い式典でしたという褒めの言葉をいただきましたことを、最後にご報告いたしまして感謝の言葉と式典に対するお話ということで閉めさせていただきます。ありがとうございます。

○地区大会の報告

金田昇パスト会長



皆さん、こんにちは。先日の地区大会のご報告というより、お礼とちょっとした報告を申し上げたいと思います。4日の地区大会は、ズームとユーチューブで開催されましたが、沢山の方に見ていただいたようで、私も吉野会長と私の会社の所でじっくり拝見させていただきました。内容的には非常にためになる内容だったのかなと思います。それと11日の日、残念だったんですがゴルフ記念コンペに参加できなくて、その代わり地区の会員拡大と活力あるクラブを作るためのセミナーのほうにパネリストとして参加させていただきました。そこで、当クラブ西クラブの会員増強のための取り組みであったり、クラブ活性化のための活動などを報告させていただきました。セミナーが終わった後に、沢山の方々からホームミーティングはどういうふうに行っているのか、会員拡大はどういうふうに行っているのかということ、非常に沢山の方からご質問を受けました。そのくらい会員拡大は難しいんだな、また楽しいクラブを作るというのは難しいんだなということを実感しました。翻ってみれば白河西ロータリークラブは非常に楽しくて、また会員拡大もしっかりできているということを実感させていただきました。ユーチューブの配信だったのですが、まだ記録としてまだ残ってアップされてないので、それ整理されて編集してからユーチューブに配信されるようですので、後程その時に石川県のパストガバナーの柳生さんという方のご講演をお聞きしました。とてもとても楽しいというか、とてもとても素晴らしい、為になるというか感動するようなお話でしたので、皆さんにも是非聞いていただきたいと思っておりますし、機会があったらどこにでも行くよと言っていたので、何かクラブの中で来ていただいて、皆さんでお話を聞いていただければなというふうに思いました。そういうわけで11日のセミナー、しっかり白河西ロータリークラブをアピールできてきたことをご報告いたします。あと吉野会長から言われたと思うんですが、今年は会員増強、目標達成したということではなく、あと2名ということを石黒ガバナーに言ってしまいましたので、あと2か月ちょっとありますので、2名の方なんとかご推薦いただければというふうに思います。一人は女性会員なのかなということも今日実感しましたので、よろしく願いいたします。